

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		4,915	5,926
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	17	17
一般財源		4,898	5,909
人員数(人)	正規職員	2.0	2.0
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	13,716.0	13,716.0
	嘱託職員	2,725.0	2,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	16,441.0	16,441.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		21,356.0	22,367.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	268	すざか市民総合大学、すざか学舎、まなび一号運営委員会
11節 需用費	1,480	消耗品費、食料費、印刷製本費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,167	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	847	すざか市民総合大学、すざか学舎、市民のつどい、まなび一号運営委員会
11節 需用費	1,704	消耗品費、食料費、印刷製本費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,375	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	地域の人材の活用と市民の多様な学習ニーズに応えるための取り組みとして実施している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	学習したことを個に還元するのではなく、その学習をとおして得たものを地域や地域の人達に還元し、生涯学習によるまちづくりにつながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	必要な経費は自分達で負担し、さらに不足する分については市から補助を受ける体制が確立してきた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

参加者は、学習することにより自分のまちに興味を持ち、さらにまちを知り、情報発信をするようになる。将来的（結果）には、まちを担っていく人を育むことになる。そのためにも、今の時機にかなった、貴重な学習機会の提供を継続したい。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
生涯学習推進員による生涯学習情報の収集や連携した事業（講座等）の実施が多くなってきたことが評価される。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
生涯学習指導者養成講座の受講者が減少しており、更なる掘り起こしが必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	